

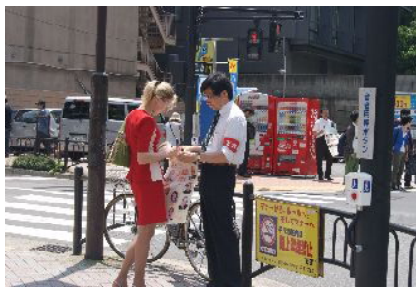
子どもたちに 核兵器も基地もない 平和な日本と世界を

憲法・平和・核兵器廃絶
メールニュース第7号
2011年6月8日(水)
全教・国民共同局

梅雨の晴れ間、夏の日差しの下、6・9行動、さわやかに！

全教会館（全教・日高教・全教共済）の仲間で取り組んでいる6・9行動、今月は6月6日に実施しました。21名が参加し、250枚のチラシを配布し、署名は18名分集まりました。

全教青年部の井村事務局長をはじめ次々とマイクを握り、「『核兵器のない世界の平和と安全を達成する』ことを確認した昨年のNPT再検討会議から1年。世論をさらに広げて、その実現をす



すめましょう。」「原発依存から自然エネルギーへの転換を」と訴えました。お弁当の袋を持った青年3人が話し合っ「書こうよ」と署名してくれる場面もありました。

みなさんの地域は、6・9行動やっていますか？ やっている地域は、ぜひ報告してください。

京都教職員組合女性部では、清水寺で6・9行動を続けています。以下は、京教組の堀照美さんからの報告です。

清水寺での6・9行動（核兵器廃絶の新署名のとりくみ）について報告します。

新たな署名には、3月6日からとりくみました。5月9日までに1090筆集まっています。退職教職員や被爆者団体、原水協、宗平協（京都宗教者平和協議会）、新婦人などの団体も参加して下さっています。4月からは、福島第1原発事故の影響で海外からの観光客が激減しています。また、原発関連の質問をされたりもしました。修学旅行生がピラを熱心に読んで友達を誘って署名してくれたり、台湾のお父さんが、自分が署名した後、息子さんをわざわざ連れてきて署名するように言ってくれたりする場面もありました。署名をして下さった方に渡している「羽ばたく鶴」は好評で、以前、受け取ったという広島市役所の方から、取材をしたいという電話をもらいました。

またまた、憲法改悪への危険な動き！

「憲法96条改正を目指す議員連盟（96条改正議連）」設立

超党派の有志議員が6月7日午後、憲政記念館で「憲法96条改正を目指す議員連盟」を結成しました（文中敬称略）。

9条など議論が対立するテーマでは一致しにくいとして、目標は「96条改正」に絞っています。改憲を掲げる各党の靖国派や日本会議派の議員たちが、「中立」を装って国会の改正発議要件を引き下げることで改憲の風穴をあけることをねらったものです。

「日本国憲法の一部を次のように改正する。第96条第1項中『三分の二』を『過半数』に改める。」との「憲法96条改正原案」の提出を確認しています。つまり、憲法改正の発議要件を衆参それぞれの議院の総議員各3分の2以上の賛成から過半数に緩和することを目指しているのです。

選出された役員は次のとおりです。各党単位に体制がとられています。

民主党／呼びかけ人代表・小沢鋭仁、幹事長・長島昭久、事務局長・北神圭朗、自民党／呼びかけ人代表・古屋圭司、幹事長・下村博文、事務局長・古川禎久、みんなの党／呼びかけ人代表・水野賢一、**たちがれ日本**／呼びかけ人代表・中山恭子、**国民新党**／呼びかけ人代表・森田高、**無所属・その他**／呼びかけ人代表・城内実、**公明党**／（議員個人単位での参加）。このほか森喜朗、麻生太郎、安倍晋三ら元首相が自民党顧問として座っており、民主党の議員連盟には200人が参加しています。この日の総会では櫻井よしこが「来賓講演」を行ないました。

震災復興を口実にした新たな国民負担や増税は許さない！ —6・1国会行動に400人—

「公務員賃下げ許すな」と総務省前で座り込みをしていた6月1日、参議員会館前では、400人の参加者で昼休み国会行動が行われました。

この日は、内閣不信任決議が出されるという日。今、政治に求められるのは、被災した人への「安心・安全の政策」であるのに、党利党略の権力闘争となっていることに対する怒りを込めた主催者あいさつに続き、日本共産党の井上哲士国会対策委員長が、「3.11大地震発生以来、国がひとつになって対応していくため、日本共産党も協力していく姿勢を打ち出してきたが、政権はどさくさに紛れて増税ありきの復興財源づくりや、復興構想など企んでいる。上からのおしつけでなく住民の合意に基づく復興をめざし、みなさんとさらに連帯して、国会の内外で奮闘します。」と、国会情勢報告と連帯のあいさつを行いました。

参加者からの決意表明では、「沖縄・高江のヘリパットいらぬ住民の会」から、午前中に防衛省交渉を行ったこと、自然豊かな高江の森を守るためにも、また何よりも人殺しの訓練場とさせないためにも、全国の仲間と共にたたかう決意が述べられました（写真）。

新日本婦人の会からは、子ども連れの若いお母さんたちも多く参加。決意表明にたった福島県の代表は、今日6月1日は「国際子どもデー」であり、「原発の放射能から子どもたちを守ろう」と表明し、このあと、「東京電力」と「文部科学省」に対して要請行動を行うと報告されました。

そして、国公労連から、国家公務員の賃金引き下げ法案に反対して、早朝より3日間の座り込み行動を自治労連、全教と共にっており、阻止するまで奮闘する決意表明がされました。

この日は、「TPP 参加反対」「消費税増税反対」「憲法改悪反対」「原発いらぬ」などの署名、あわせて55万7千筆を提出しました。

全教は、「憲法改悪反対」署名を

6／1に、39373筆提出しました。

いままでに既に109944筆提出していますので、

あわせると**14万9317筆**となります。



いよいよ明日です！

労働者・国民の声を国会から締め出す

6・9 比例定数削減に反対する大集会 in 東京

6月9日（木）午後6時20分から なかのZERO大ホール 主催：全労連・東京地評

★講演「大震災後の政治の行方」渡辺治さん ★国会報告 日本共産党市田書記局長